

Les Quatre Mains

An illustration featuring a harpsichord at the top center. On the left, two teal hands reach towards the instrument. On the right, two yellow hands reach towards it. Dotted lines connect the hands to the harpsichord and form a circular path around the central text. The harpsichord is depicted in a stylized, flat manner with a brown top and blue base. The hands are simple, flat shapes. The background is a light yellow with a fine grid pattern.

連弾祭

〜バロックから近代までの4手の作品を盛りだくさん

2015年6月21日[日] 14:30開場 | 15:00開演

演奏：チェンバロ デュオ 《レ・キャトルマン》

会場：L'Atelier Baroque「アトリエ バロック」 チケット：[前売り]2,700円 [当日]3,000円

問合せ / 申込：マネジメントデュエ・ルネ [tel]042-743-1370 [email] info@due-lune.jp

演奏予定曲：J.C.F. バッハ 4手の為のソナタ イ長調 / A. タンスマン 4手の為の小品より 他

連弾祭^{まつり}

Les Quatre Mains

チェンバロ・デュオ《レ・キャトルマン Les Quatre Mains》は、加久間朋子と梶山希代によるチェンバロ・デュオ。ユニット名はフランス語で4つの手という意味。2007年結成以来、各地で演奏活動を展開。オリジナルのデュオ作品にとどまらず魅力的な作品をチェンバロ2台用や連弾用に編曲し、独自のレパートリーを広げている。2011年8月CD「バッハ家の鍵盤二重奏曲」をリリース。



加久間朋子(写真右)

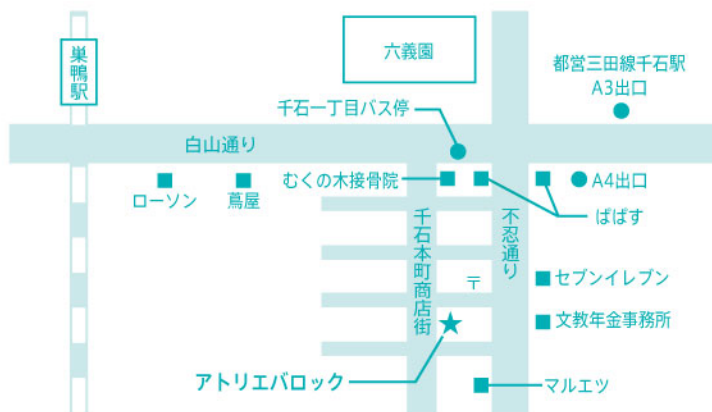
チェンバロを故鍋島元子に師事。1974年創設古楽研究会で古楽奏法の研鑽。ミラノ音楽院でE.ファディーニのマスタークラス修了。ソロ、通奏低音奏者として活躍。イタリア、ドイツでソロ公演。アンサンブル「音楽三昧」メンバーとして、アメリカ公演、CD7枚リリース。08年発売CDが第7回「サライ大賞」CD・DVD部門賞受賞。現在、故鍋島の遺志を受け継ぎ、古楽研究会代表を務める。

梶山 希代(写真左)

古楽研究会にてチェンバロソロ及びアンサンブルを橋本ひろ、故鍋島元子に師事。ウィーン市立音楽院でT.コープマン、リュウベック音楽院でB.v.アスペレンのマスタークラスを修了。2004年「2台のチェンバロによるフーガの技法全曲演奏会」、2006年「響きあう多感な魂」等の自主公演を始め、各地で演奏活動を行う。現在、古楽研究会講師、東京古典楽器センターチェンバロ科講師、東邦音楽大学非常勤講師。

会場案内

L'Atelier Baroque「アトリエ バロック」
[住所]東京都文京区千石4-1-9 レジデンス高久1F



デュオ《レ・キャトルマン》のCD 発売中

バッハ家の鍵盤二重奏曲 税抜き定価 ¥2,500

大バッハと息子3人の鍵盤二重奏作品のほとんどを収録。クラヴィコードも使用して、多彩なバッハ家の音楽を生き生きとここに再現。

収録曲 ヨハン・セバスティアン・バッハ 2台のハーブシコードのための協奏曲 八長調, BWV1061a / ヨハン・クリスティアン・バッハ デュエット 長調, Op.15 / カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ 4つのデュエット曲, Wq.115 (クラヴィコードでの二重奏) / ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハ 2台の鍵盤のための協奏曲 へ長調, F.10 ベルトモデル 1782(ファッジのキット) / J.モーリー 1959年製作 4オクターブクラヴィコード

使用楽器 G.カルマン 1996年製作 フレミッシュ二段鍵盤 I.ルッカースモデル 1624ラヴァルマン / M.スコヴロネック 1963年製作 フレミッシュ二段鍵盤 デュルケンモデル1745 / A.リーマン 1992年製作 クラヴィコード フーベルトモデル 1782(ファッジのキット) / J.モーリー 1959年製作 4オクターブクラヴィコード

